

＊ 富田林市若者条例

目的

若者が活躍できるまちづくりの推進に関する基本理念を定め、若者、市民等及び市の役割を明らかにすることにより、**若者のまちづくりへの参画及び育成を図り、もって誰もが幸せで、安心して暮らせるまちを実現**することを目的に制定するもの。

若者

- ・地域への理解・関心を深める
- ・自主性を培い、まちづくりに積極的に参画する。

市民等

- ・地域に関する情報を提供
- ・若者の活動に対する協力・支援

三者の連携・協働

市（行政）

- ・市政等に関する情報を提供
- ・「若者」「市民等」を繋ぐ
- ・施策策定や財政措置

誰もが幸せで安心して暮らせるまち

富田林の若者施策のルーツは古く、昭和45年に制定された富田林市民憲章に「若い力を伸ばし、希望と平和の未来を築きましょう」と規定されており、富田林の発展に若者の活躍が求められています。

また、市総合ビジョン・総合基本計画において、分野別施策「未来への希望を育む子育て・教育」の個別施策4「未来の担い手の育成」に「若者が活躍できる場づくり」を掲げています。このように、富田林ではまちづくりを進める上で、若者の力に注目していました。

富田林に限った話ではありませんが、少子高齢化や人口減少が本市でも進んでおり、長引くコロナ禍も相まって、地域におけるコミュニティ意識の希薄化等により、地域活動の担い手不足などが本市における喫緊の課題となっています。このような中、富田林がより良いまちとなっていくためには、次世代を担う若者が地域の課題解決やまちの魅力創出に取り組むとすることが必要です。

そこで、令和2年8月に市民会議“Mira-ton+”を開催するなど、市民の方々からも多数の意見を頂戴した上で、若者が活躍できるまちづくりの推進に関する基本理念を定めた「富田林市若者条例」を制定しました。

若者条例という名称ではございますが、「若者だけに頑張ってもらう」、「若者だけが優遇される」と言うものではありません。若者たちは地域への理解や関心を深め、まちづくりに積極的に参画し、大人や企業も含む市民等は地域活動の紹介やノウハウの提供、若者の活動支援等を行います。そして、市は若者と市民等を繋ぐ役目や、若者が市政等に参画する機会の確保を担っています。このように3者の連携・協力により、若者を含む「誰もが幸せで安心して暮らせるまち」が若者条例の目指すゴールです。

この若者条例の制定は、「若者」を主役とした条例としては大阪府下初であり、全国でも2例目となる非常に先進的な条例です。

富田林市若者会議

目的

- 富田林市若者条例第7条(若者会議)に規定する、「若者が市政等に参画する機会」を確保するために創設する。

活動内容

- 富田林市に関わる若者を委員として委嘱する。
- 6回の全体会議と中間報告会を通して富田林に必要な施策や取組など、まちづくり全般に関する事項について検討・協議し、その結果を「提案施策」として市長に報告する。
- 報告を受けた市は、必要に応じて**施策の策定、又は財政上の措置**を講ずる。



若者会議は、若者条例の第7条にその設置が規定されており、「若者が市政等に参画する機会」を確保することを目的とした会議です。

活動内容としては、若者が富田林に必要な施策や取組など、まちづくり全般に関する事項について、検討・協議し、その結果を「提案施策」として市に報告します。

施策を検討する若者会議委員は、富田林市に関わりのある概ね16～30歳の若者を20名程度からなります。令和3年度の第一期、令和4年度の第二期ともに、高校生から社会人まで幅広い世代の若者を委員として委嘱しています。

現在開催しています第二期若者会議では、全6回の全体会議と中間報告会を経て、8月下旬には検討した施策について報告がありました。

報告を受けた市は、若者条例第6条の規定のとおり、「必要に応じて施策の策定、又は財政上の措置を講ずる」こととなります。市において「提案施策」の実現に向けた検討を進め、予算化プロセスに則り予算要望を実施します。最終的に本市議会で承認されますと、晴れて若者たちの提案した施策が実現することとなります。



「富田林で遊び尽くせ!」の開催

小学校から大学まで、幅広い世代の若者や学校間の交流などを目的に、市内の様々なスペースを活用した誰でも楽しめるイベント「富田林で遊び尽くせ!」を開催します。
令和4年10月にハロウィンイベントを開催し、令和5年3月にはゆるスポーツ大会の開催を予定しています。



「ワカモノ★ミライカフェ」の設置
若者の未来の選択肢を広げることを目的に、「ワカモノ★ミライカフェ」を設置します。
様々な専門家によるワークショップ形式の進路相談や、学校や学年、職業を超えた繋がりがづくりのための「ワークショップ」を実施します。

第一期 若者会議 提案事業



ミューラル(壁画)の制作

富田林の新たなブランドとして、ミューラル(壁画)を制作します。
令和4年11月3日には、金剛東中央公園において大型ミューラルの完成記念セレモニーと、プロのアーティストと作品づくりが出来る参加型ライブペイントを同時開催しました。



富田林の魅力を発信

富田林の魅力を今以上にPRすることを目的に、市公式インスタグラムアカウントを新たに開設します。
リール(短尺動画)の作成・活用などにより、市と共にまちの魅力を積極的に発信しています。
また、富田林に関わる写真にハッシュタグをつけて投稿し、入賞者には市特産品などの景品を贈呈する、投稿キャンペーンの開催を予定しています。

市民交流演劇講座の開催

市民同士の交流を促進するため、市民参加による演劇講座を開催します。作品づくりを通して、居住地域や世代を超えた新たな繋がりを生み出します。
令和4年10月2日より、演劇経験者であるコーディネーターの指導のもと講座がスタートし、最終回となる12月25日には、Topicで公演を実施します。



第一期若者会議提案事業

・「富田林で遊び尽くせ!」の開催」

小学校から大学まで、幅広い世代の若者や学校間の交流などを目的に、市内の様々なスペースを活用した誰でも楽しめるイベント「富田林で遊び尽くせ!」を開催します。
令和4年10月にハロウィンイベントを開催し、令和5年3月には、ゆるスポーツ大会の開催を予定しています。

・学びに関する施策として「ワカモノ★ミライカフェの設置」

若者の未来の選択肢を広げることを目的に、様々な専門家によるワークショップ形式の進路相談や、学校や学年、職業を超えた繋がりがづくりのための「ワークショップ」を実施します。

・「まちの魅力発信」に関する市公式インスタグラムアカウントを新たに開設

リール(短尺動画)の作成・活用などにより、市と共にまちの魅力を積極的に発信しています。
また、富田林に関わる写真にハッシュタグをつけて投稿し、入賞者には市特産品などの景品を贈呈する、投稿キャンペーンの開催を予定しています。

・富田林の新たなブランドとして、「ミューラル(壁画)の制作」

令和4年11月3日には、金剛東中央公園において大型ミューラルの完成記念セレモニーと、プロのアーティストと作品づくりが出来る参加型ライブペイントを同時開催しました。

・市民交流をテーマにした「演劇講座の開催」

市民同士の交流を促進するため、市民参加による演劇講座を開催し、作品づくりを通して、居住地域や世代を超えた新たな繋がりを生み出します。令和4年10月2日より、演劇経験者であるコーディネーターの指導のもと講座がスタートし、最終回となる12月25日には、Topicで公演を実施します。

提案事業の実現にあたり、若者会議第一期委員より、事業の運営にも関わりたいとのご意見が多く寄せられたことから 若者会議OB会「心はいつも富田林」(愛称:こことん)を創設しました。「こことん」では、実現された提案事業の運営のほか、市政運営上、若者の声を反映すべきものについて意見聴取などを実施しております。このように、若者会議は施策を提案するだけでなく、若者たちの富田林やまちづくりに対する関心が一層高まり、市政等へ積極的に参画するきっかけとなっています。

市若者会議提案事業

農業応援プロジェクトの企画・立案

農業人口の減少を防ぐことを目的に、若者をターゲットにした就農PRを実施します。チラシやウェブサイトなどを活用し、大学生や若手社会人を対象に、農業の実情や半農半Xという新たなライフスタイルを知ってもらうことで、若者の人生設計に就農という選択肢を生み出します。

とっぴーを活用した広報活動の強化

より多くの方に富田林の魅力を発信することを目的に、富田林市のイメージキャラクターである「とっぴー」を積極的に活用します。とっぴーが市内イベントへの参加や様々なことにチャレンジする動画の制作や、イラストのバリエーションを増やすなど、とっぴーをこれまで以上に活躍させ、まちの魅力を多くの方々に伝えます。

第二期 若者会議提案事業

寺内町きらめきロードの開催

富田林の若者に寺内町の魅力を今以上にPRすることを目的に、寺内町散策イベント「寺内町きらめきロード」を開催します。寺内町を舞台とした謎解きなどのイベントを開催し、まちを散策することで、寺内町の魅力を肌で感じてもらい、寺内町のファンを増やします。

複合型イベントの開催

若者の市外への流出を減少させることを目的に、若者が主役となるイベントを開催します。イベントは若者が自身の特技を多くの方に披露できる「ステージ」と、市内の事業者と若者が協力して出店する「ブース」を複合して開催します。イベントの運営を若者が担うことで、若者同士の連帯感を生み出し、愛郷心を育むことで、若者の定住をめざします。

令和4年度に開催した第二期若者会議からの提案事業

・「農業応援プロジェクトの企画・立案」

農業人口の減少を防ぐことを目的に、若者をターゲットにした就農PRを実施します。チラシやウェブサイトなどを活用し、大学生や若手社会人を対象に、農業の実情や半農半Xという新たなライフスタイルを知ってもらうことで、若者の人生設計に就農という選択肢を生み出します。なお、こちらのテーマは、市から複数のテーマをご提案し、若者会議委員から最も支持を得たものを若者会議のテーマの1つとして検討するという新たな仕組みのもと、決定されたテーマです。

・広報に関する取組として、「とっぴーを活用した広報活動の強化」

より多くの方に富田林の魅力を発信することを目的に、富田林市のイメージキャラクターである「とっぴー」を積極的に活用します。とっぴーが市内イベントへの参加や様々なことにチャレンジする動画の制作や、イラストのバリエーションを増やすなど、とっぴーをこれまで以上に活躍させ、まちの魅力を多くの方々に伝えます。

・寺内町を舞台にしたイベントの開催

富田林の若者に寺内町の魅力を今以上にPRすることを目的に、寺内町散策イベント「寺内町きらめきロード」を開催します。寺内町を舞台とした謎解きなどのイベントを開催し、まちを散策することで、寺内町の魅力を肌で感じてもらい、寺内町のファンを増やします。

・若者が中心となる複合型イベントの開催

若者の市外への流出を減少させることを目的に、若者が主役となるイベントを開催します。イベントは若者が自身の特技を多くの方に披露できる「ステージ」と、市内の事業者と若者が協力して出店する「ブース」を複合して開催します。イベントの運営を若者が担うことで、若者同士の連帯感を生み出し、愛郷心を育むことで、若者の定住をめざします。

以上、4つの施策が提案され、現在、若者のご意見も伺いながら、実現に向けた検討を進めています。

本市では、引き続き若者が活躍するまちづくりの実現に向け、努めてまいります。